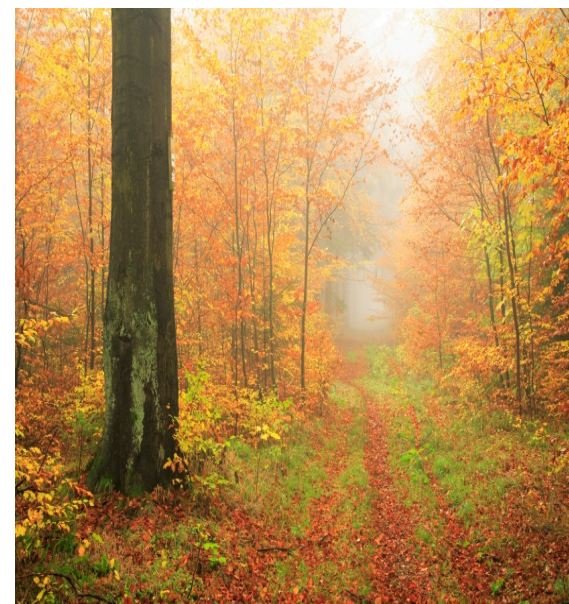


インマヌエル中目黒キリスト教会
2011年10月30日
聖日礼拝

ネヘミヤ記連講23
「神のための熱心」
ネヘミヤ記13章15-22節
竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記13章15-22節

15 そのころ私は、

ユダのうちで安息日に
酒ぶねを踏んでいる者や、
麦束を運んでいる者、また、
ろばに荷物を負わせている者、
さらに、ぶどう酒、ぶどうの実、
いちじくなど、あらゆる品物を
積んで、安息日にエルサレムに
運び込んでいる者を見つけた。

それで私は、
彼らが食物を売ったその日、
彼らをとがめた。

16 また、そこに住んでいた
ツロの人々も、魚や、
いろいろな商品を運んで来て、
安息日に、しかもエルサレムで、
ユダの人々に売っていた。

17 そこで私は、
ユダのおもだった人たちを
詰問して言った。
「あなたがたはなぜ、
このような悪事を働いて
安息日を汚しているのか。」

18 あなたがたの先祖も、
このようなことをしたので、
私たちの神は
このすべてのわざわいを、
私たちとこの町の上に
送られたではないか。
それなのに、
あなたがたは安息日を汚して、
イスラエルに下る怒りを
加えている。」

19 安息日の前、

エルサレムの門に夕やみが
迫ると、私は命じて、
とびらをしめさせ、
安息日が済むまでは
開いてはならないと命じた。
そして、私の若い者の幾人かを
門の見張りに立て、
安息日に荷物が持ち込まれない
ようにした。

20 それで、商人や、
あらゆる品物を売る者たちは、
一度か二度エルサレムの外で
夜を過ごした。

21 そこで、私は彼らをとがめて
言った。

「なぜあなたがたは、
城壁の前で夜を過ごすのか。
再びそうするなら、
私はあなたがたに手を下す。」
その時から、彼らはもう、
安息日には来なくなかった。

22 私はレビ人に命じて、
身をきよめさせ、
安息日をきよく保つために、
門の守りにつかせた。
私の神。どうか、
このことにおいてもまた、
私を覚えていてください。
そして、
あなたの大きいなるいつくしみに
よって私をあわれんでください。

説教

ネヘミヤ記連講23

「神のための熱心」

ネヘミヤ記13章15-22節

竿代照夫牧師

主テキスト：

「私はレビ人に命じて、
身をきよめさせ、
安息日をきよく保つために、
門の守りにつかせた。」

(ネヘミヤ記 13 : 22)

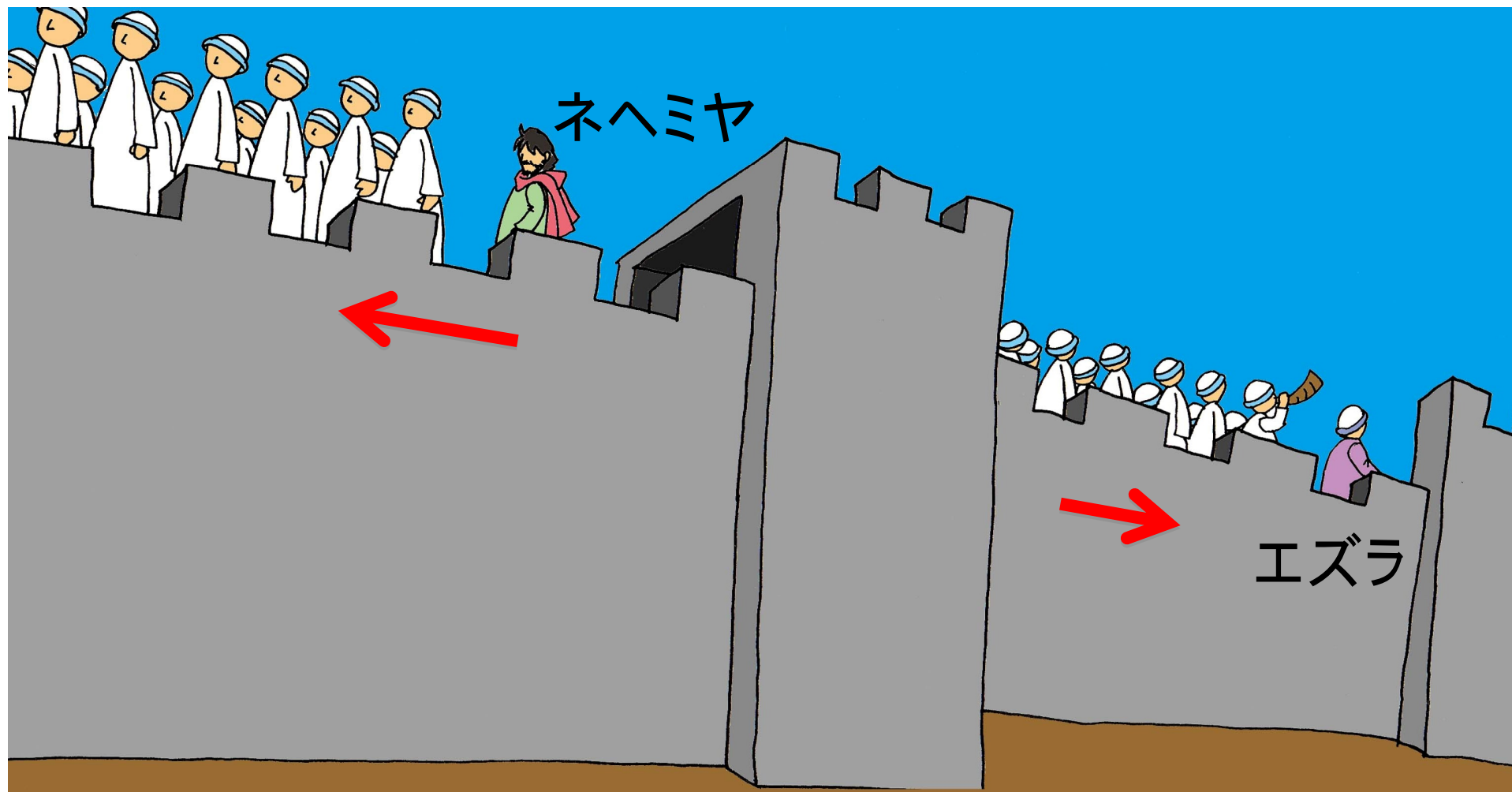
1 . 喜びの奉献式

(1 2 章 = 復習)

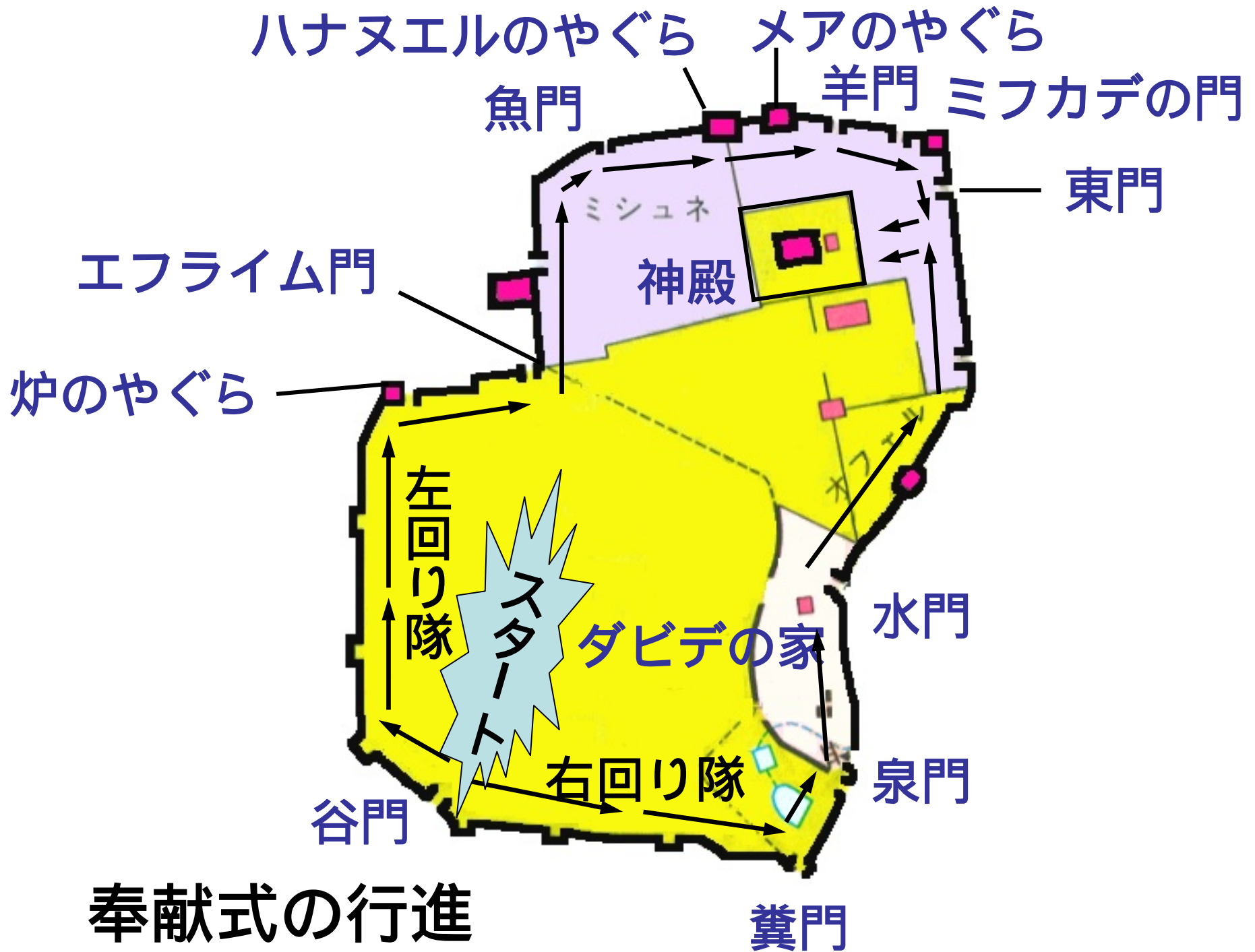
- ・ 城壁の上を行進

(イラスト と地図)

- ・ 神殿で賛美と供え物



イラスト



2 . それから 1 2 年 (1 3 章)

- ・ 城壁再建 1 2 年後
ペルシャに帰り、
再度エルサレムに戻る
(B C 4 3 2 年)

・ 礼拝精神の綻びを見つける

神殿が不信仰者に使われていた
(1 - 5 節)

レビ人に給与が払われて
いなかった (6 - 1 4 節)

安息日が破られていた
(1 5 - 2 2 節)

これが今日のテーマ
祭司が異邦人と結婚していた
(2 3 - 3 1 節)

- **ネヘミヤの改革：**
祈りと勇気と知恵をもって
取り組んだ

3 . 安息日を清く保つ

- ・ 「安息日破り」：
いつもの仕事をする人、
商売をする外国人

(イラスト)



イラスト

- **ネヘミヤが叱る：**
安息日の大切さを教える
- **安息日の夕刻：**
閉門し、見張りを立て、
荷物の出入り禁止
（イラスト）
- **外で待つのも禁止**
（イラスト）



イラスト



イラスト

4 . 神のための熱心

- 安息日の大切さ：
神を覚え、
神の民が一つとなる日
- ネヘミヤの改革は、
神のために思う熱心からきた
- 私たちも熱心に神を畏れ、
従おう

5 . マルチン・ルターの熱心 (1517年の宗教改革)

- 熱心に求道する：
一番マジメな修道士
- 救いを頂く：
信仰によって救われる！
- 免罪符（罪を赦すお札）の販売
に抗議する

おわりに：

中途半端でなく、
熱心に神につかえよう